



**札幌部会(第18回)**

日 時:	2017年9月16日(土) 14:30-17:00
場 所:	Sapporo55ビル 5階 キャリアバンクセミナールーム
参加者:	野間(同志社大)、濱地(道教大札幌校)、川瀬(札幌旭丘高)、山下(札幌市立簾舞中)、佐藤(札幌東陵高)、志田(札幌稲雲高)、吉川(千歳北陽高)、奈良(藤女子中高)、山崎(北見北斗高)[順不同]

**【内容要旨】**

- 野間先生より、夏休み経済教室の報告が行われ、札幌で開催する「冬の経済教室」のプログラム調整が行われた。日時は「2018年1月27日(土)13:00~17:00」、場所は「Sapporo55ビル5F キャリアバンクセミナールーム」、参加者数は「55人」を目指すこと、内容は①「新学習指導要領の考え方、教え方」(栗原先生or橋本先生)、主権者教育に関わる実践事例として②「財政と税の授業」(金子先生)、③「主権者としての意識や判断力を育む経済学習」(吉川先生)という方向で、今後さらに調整を進めることになった。
- 川瀬先生による札幌部会レジュメをもとに、東京開催の「冬の経済教室」で、竹内先生が発表する「中学校における主権者教育ー多数決を考えるー」の授業構想に向けて議論が行われた。竹内先生は公務で欠席のため、根本的な授業づくりの手法として、杉田先生のように「経済学の知見から授業をつくる」という型と、河原先生のように「ねらいに基づいて授業をつくり、それに経済的な見方・考え方を加える」という型の違いから議論が行われた。本来、中学校では、坂井豊貴氏の本のように「決め方」までを考える必要はなく、新学習指導要領でも「少数意見に配慮する必要がある」という程度しか求められていない。このことから、中学校では後者の型から授業づくりを進めるのが本筋だろうという意見が出された。また発表の内容は、あくまでも部会でなく個人レベルでつくるものだが、現時点で授業案の具体がなく、このまま部会での議論を経ずに、東京で発表しても大丈夫なのかという指摘がなされた。このため竹内先生を交え、札幌部会版の陰謀会議〔日時:10月14日(土)15:00~17:00、場所:Sapporo55ビル4F 北教大サテライト応接室or相談室〕を開催(参加自由)する運びとなった。
- 志田先生より、北海道高等学校政治経済研究会(道政研)より発行した『主権者教育実践事例集』が配布、説明された。本実践事例集の執筆者は、札幌部会メンバー(川瀬・鈴木・伊藤・吉川・佐藤・志田・下川・藤倉・庄司の各氏+山崎)となっている。今後は続編を作成し、理論的にも充実させていきたいとのことであった。このことに関連し、橋木俊詔氏(京都女子大)を招いて開催する道政研学習会〔日時:10月12日(木)19:00~、場所:かでる2.7〕の案内が行われた。
- 川瀬先生より、アクティブラーニングに関わる以下の資料が紹介された。
  - ①アクティブラーニングの一手法として「アイデアソン」を使った参考事例である「IoTデータを活用した新しい価値創造」のPP資料(三菱総合研究所による)
  - ②アクティブラーニングの経験則を45のコツとしてまとめた『アクティブラーニングのためのパターン・ラングー



ジ』の冊子及びカード(ベネッセコーポレーションによる:希望すれば10セットまで各学校に無料配布)

5. 山崎より、『見方・考え方』を働かせた深い学びのデザインー経済学習としての『貿易ゲーム』を事例にー(『日本高校教育学会年報』第24号掲載)の論文抜刷を配布し、内容紹介を行った。これはルーブリックを道具として使うことで、「貿易ゲーム」特有の道徳的な認識でなく、経済的な認識を育むことをねらいとした実践である。ただし、このようなルーブリックを用いた行動目標的アプローチの評価は、生徒の思考・行動を規制し、教師の望ましいとする方向に思考・行動を誘導してしまう課題を持つものである。このため、経済学習での評価方法を用いる是非について意見交換を行った。
6. 野間先生より、夏休み経済教育の講演資料をもとに、「公民教育の理解の仕方・教え方」に関するレクチャーが行われた。今後は、①「現実の諸問題に対処する力が一段と求められること」、②「目標として『…できる』よう指導すること」、③「そのために社会的な見方・考え方が重要であり、経済概念の学習が教師に必要であること」、④「活動型授業によって、自然と概念が身につくような教材が有効であること」が論じられた。また、過去10年のネットワークメンバーの全授業報告を分析したところ、理論・概念が強固で、価値判断基準が比較的単純な①「企業」、②「財政」、③「市場」に関する内容が報告回数の多いベスト3となっていて、「金融・貨幣」、「社会保障」、「労働」、「貿易」、「財政政策・金融政策」に関する内容が少ないことが報告された。

#### 【その他】

※ 大型の台風18号の影響で、野間先生が帰りの便の席確保に苦慮された。懇親会や二次会では、今後の札幌部会を通して、いかに後進の若い先生たちを育て、学び合いを進めていくかということを中心に、熱く議論が繰り広げられた。

(文責:北海道北見北斗高等学校 山崎 辰也)

次回開催予定:次回は、1月27日(土)に「冬の経済教室in札幌」として開催。時間は13:00～17:00。場所は、Sapporo55ビル5階 キャリアバンクセミナールーム。